

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

ノラネコぐんだん パンこう
じょう

工藤 ノリコ 著



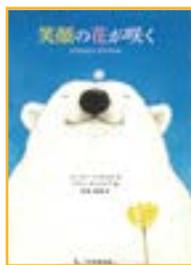
食いしんぼうのノラネコぐんだん。おいしそうなパンが気になり、パン工場にしのびこみま
すが…。

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111

笑顔の花が咲く

トレーシー・コーデユロイ 作



お互いを思いやる心がとても
愛おしい、心がキュンとなる内
容です。

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

鳥墓へむらさき垂るる藤の花
遠目にも白き風吹く山桜
どつと来てどつと鶴引く島日和
目的もなき旅に出づ芝青む
連ぎようの灯すいるどり百日忌
うら若き新任教師四月来る
母ゆずりの甘酒作りて神まつる
校庭の花に声掛け退職す
白木蓮手品師鳩を取り出だす
浅草の金髪が飲む甘酒屋

淵脇 護
中橋 藤七
二階堂妙子
関 佳代美
大堂 早苗
筑前 初市
二階堂恵子
迫口 君代
竹内 功
大堂 正弘

長島短歌会

今朝の靄深くこめぬて海峡も天草山もわが住む島
も
荒畑の草抜き出でし大根の小さき群花重たく揺る
る
佐太郎歌碑の御前に立てば渡り来る海風寒し葉桜
老ひて
特老の廊下に響く音楽に老踊るさま胸痛みをり
春嵐過ぎて海辺に流れ来し海藻あまた競ひ拾へり
朝まだき庭に桜の花散りて一円玉もまぎれて濡る
る
わが友に会ひ行く道に大根の花真盛りて黄蝶群れ
をり
挿木にて育てし亡夫の山茶花を参る墓前の花にた
し置く
すすいと目交ひ飛びゆく小鳥らの囀る麓に老の
和める

中山タマエ
浜田美代子
浜風寒し葉桜
浜畑 松枝
本田 幸子
松元 睦子
吉田 映子
市尾 操
岩下 ち江
岩下 房代

北帰行阻むは何か引き返す鶴の家族の鳴き声哀し
榎平 頼子
近親の弔ひ重なり春愁の思ひ深かり宵の厨に
米尾 和子
暖かき春の光受けフリージアの黄の花庭に連なり
坂之下典子
て咲く

創生短歌会

今年また共に飲まむと約したる友は賀状のまま逝
きにけり
竹之内重信
夫の忌に顔を合わせるのみにして息子いつしか遠
くなりたり
石原百合子
離れ住む友の死知らず睦みたる少年の日の今に顯
ちくる
宮元 司
子がくれしそこぼくの金を年金に加えて老の生計
支う
野村 益信
山畑に鍬打ちおれば土塊の小石が小さき火花散ら
せり
山下 学
正解か否かは知らねど早々と施設に入りし友の決
断
村上 義彦
病死あり老衰ありて挫折せし人あり去りて行きし
人あり
大塚 洋子

一般作品

「短歌」
友の母百三才を迎えたと年賀状くるわれもはげま
され
中飯屋辰子
とほざかるバスのなかより母をみる手をふる母の
ちさくなりゆく
平木 良雄
年取ると良い事なきや何事も気力無くなる生甲斐
無きや
町田 末則
「俳句」
亡き母に詫びて居るなり菜種梅雨
宗方 清明